

I-3 新幹線開業対策 越前たけふ駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興
- ・越前たけふ駅と周辺市町、観光地との道路や公共交通ネットワークの整備

水仙ランド周辺の景観づくり (P32)

越前海岸の景観を活かした観光名所形成

- ・絶景ポイントの整備
- ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定 など

鯖江駅の周辺整備 (P28)

鯖江駅～西山公園など主要施設の動線整備

- ・SDGsを研究・発信する「さばえSDGs推進センター」の整備
- ・鯖江駅観光案内所への地場産業PRブース整備
- ・市内交通網の再編、JR鯖江駅の利便性向上
- ・サテライトオフィスの整備
- ・商業エリアの個店改修 など

武生駅の周辺整備 (P27)

武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成

- ・タンス町通りの整備
- ・市役所新庁舎、庁舎前ひろばの整備
- ・武生中央線の再整備 など

越前たけふ駅の周辺整備 (P26)

越前たけふ駅および周辺整備

- ・駅西交通広場、道の駅等の整備
- ・アクセス道路の整備 など

北前船の歴史空間の再生 (P13)【再掲】

北前船の歴史を核としたまちなみを整備

- ・右近家離れの再整備
- ・北前船主通りの舗装高質化
- ・北前船主中村家住宅大規模改修
- ・馬借街道のトレイルコース整備 など

志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充 (P33)

- ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだの拡充
- ・「フォーシーズンテラス」(仮称)の整備
- ・渓流温泉冠荘リニューアル

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

今庄宿の歴史空間の再生 (P31)

宿場町や鉄道のまちの風情が感じられる町並みの保存、景観整備

- ・北国街道の道路舗装の高質化 など

越前ものづくりの里プロジェクト (P29)

伝統工芸の産地における拠点や産地全体の連携拠点を整備

- ・サンドーム福井の再整備
- ・越前古窯博物館の整備
- ・漆器工房の見える化
- ・紙の文化博物館の再整備
- ・越前打刃物振興施設の整備
- ・越前算笥会館の整備
- ・越前陶芸村活性化施設の整備 など

広域道路の整備促進

- ・国道476号 持越バイパス、白栗バイパス等
- ・国道417号 冠山峠道路、(仮称)新板垣トンネル等

南条SAの周辺整備 (P30)

南越駅SAおよび周辺整備

- ・道の駅「南えちぜん山海里」の整備
- ・観光農園の整備 など



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)	
越前 たけふ 駅	鉄道・運輸機構 約69億円 県・越前市 — 越前市 —	駅舎デザイン コンセプト提案 (市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運 転等			
		駅西交通広場、道の駅等の整備、アクセス道路整備				南越前周辺まち づくり計画	新幹線駅周辺まち づくりガイドライン	新幹線駅の基本機能導入、土地利用エリアの段階的開発				
武生 駅	越前市 約70億円 越前市 約0.2億円 県・越前市 約0.7億円 越前市 約6億円 越前市 約4億円	新庁舎の整備			庁舎前ひろば整備							
		タンス町通りの整備			商業エリアの個店改修		武生中央公園屋内催事場の整 備紫式部公園の再整備	紫式部公園の修景整備		武生中央公園大型遊具等整備		
鯖江 駅	県・鯖江市・民間 — 鯖江市 — 県・鯖江市 約1億円	鯖江駅周辺の整備										
		商業エリアの個店改修	市内交通網の再編 コミュニティバス		JR鯖江駅の利便性向上							
もの づくりの 里	県 約4億円 県 約8億円 越前市 約2億円 越前市 約3億円 越前市 約0.2億円 県・鯖江市 約3億円 越前町 —	サンドーム福 井の再整備	越前古窯博物館整備									
		紙文化博物館整備	越前打刃物振興施設の整備		箏笛会館の整備							
		ラポーゼかわだ再整備			越前陶芸村活性化施設の整備							
旧街道・ 県境	南越前町 約7億円 越前町 約1億円 池田町 — 国 約57億円(県想定)	今庄宿の整備										
		水仙ランドの整備	視点場の整備	水仙ランド周辺の景観づくり								
		志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充										
		国道417号 冠山峠道路								(R5年内開通見通し)		
広域	県・国 —	広域道路の整備促進										

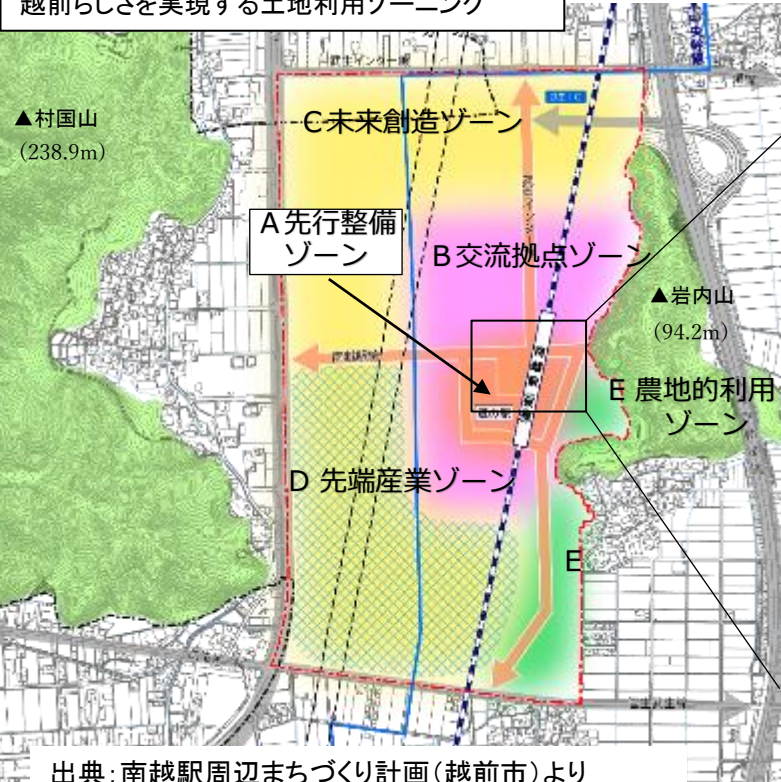
1-3 (1) 越前たけふ駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・南越駅周辺整備基本計画の策定(市、2015) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・南越駅周辺まちづくり計画の策定(県・市、2019) ・新幹線駅周辺まちづくりガイドライン策定(市、2020) ・新幹線駅舎の整備(機構、~2022) ・東西・南北アクセス道路の整備(県、~2022) ・越前たけふ駅の駅西交通広場、道の駅等の整備(市、~2022) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地や周辺観光地との二次交通の確保 ・道の駅を中心とした駅周辺の賑わい創出 ・越前たけふ駅周辺整備の推進(市、2021~)

新駅となる越前たけふ駅を整備するとともに、駅西交通広場や道の駅、アクセス道路等を整備します。

越前らしさを実現する土地利用ゾーニング



駅舎デザインコンセプト
「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」



北陸新幹線越前たけふ駅舎

○ 2023年度実施事業【越前市】

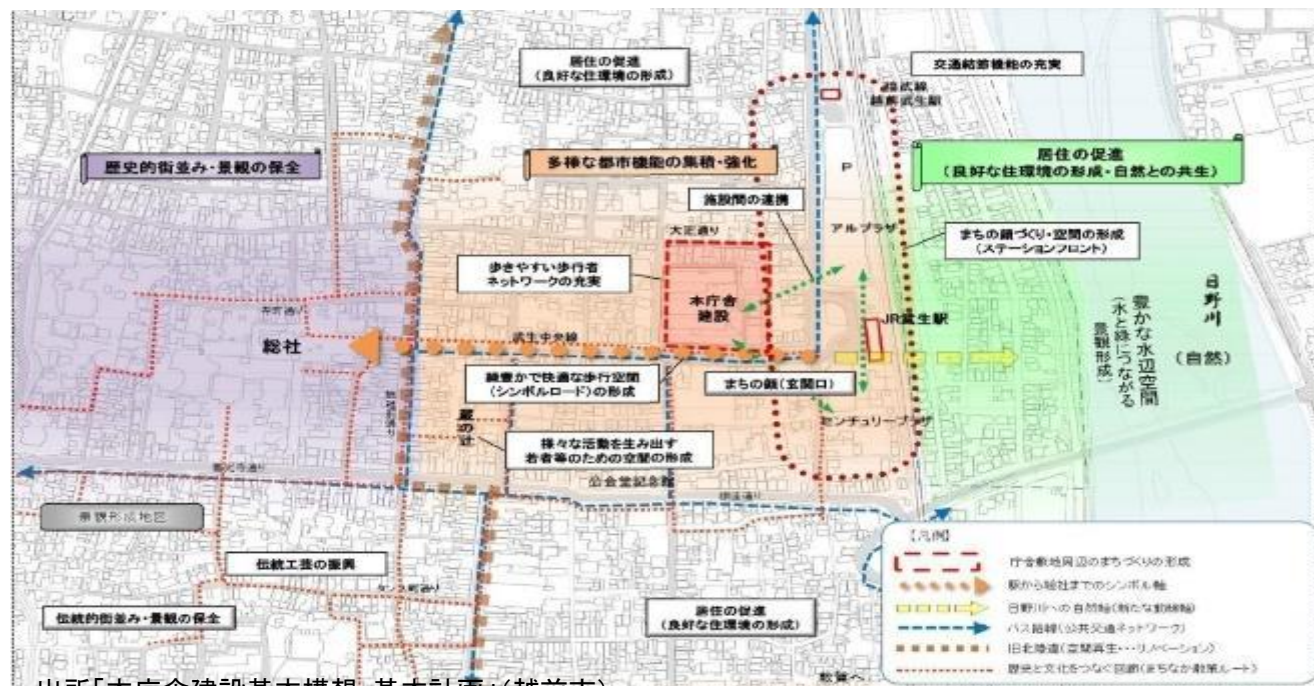
- ・高次機能の集積に向けた着実な企業立地の推進(越前たけふ駅周辺整備推進事業 5,000千円)

1-3 (2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・蔵の辻広場の整備(市、2001) ・武生中央公園の再整備(市、～2018) ・ちひろの生まれた家記念館の整備(市、2017) ・市民プラザたけふの整備(市、～2019) ・ダンス町通りの整備(市、2019) ・市役所新庁舎・庁舎前ひろばの整備(市、～2020) ・武生中央線の再整備(県、2020) ・武生中央公園屋内催事場の整備(市、～2021) ・北府駅鉄道ミュージアムの整備(県・市、～2022) ・武生中央公園大型遊具等整備(市、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部公園の修景整備(市、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか観光サイン整備事業

武生駅周辺には、古代から国府や国分寺、府中城などが置かれ、長く地域の政治・経済の中心地でした。駅周辺に新庁舎を配置し、武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成し、新しい中心市街地づくりをめざします。



出所「本庁舎建設基本構想・基本計画」(越前市)

○ 2023年度実施事業【越前市】
 ・紫式部公園の修景整備
 (公園整備事業 25,160千円)



市役所新庁舎



大正～昭和初期の木造建築物の再生(蔵の辻)

1-3 (3) コンパクトな鯖江のまちづくり

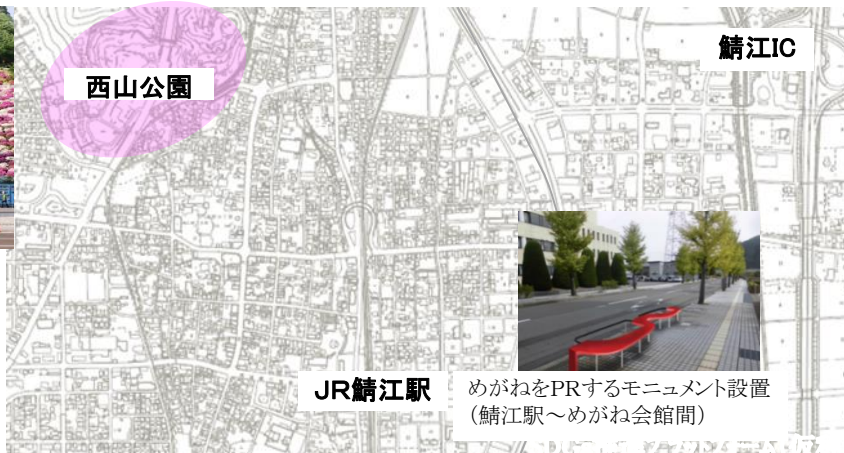
主体	県・鯖江市	場所	鯖江市
事業費	未定	期間	未定

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入(市、2012) ・学生による滞在型まちづくり活動の実施(市、2013～) ・道の駅「西山公園」の整備(県、2014) ・鯖江駅周辺の景観整備(市、～2017) ・個店の改修等への支援(県・市、～2018) ・さばえSDGsセンターの整備(市、2020) ・鯖江駅観光案内所の充実(市、2020) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江駅と西山公園などを結ぶ動線づくり ・JR鯖江駅の利便性向上への取り組み ・鯖江IC高速バスターミナルの機能拡充への取り組み ・サテライトオフィスの誘致 ・鯖江駅前線の無電柱化(県、2021～)

鯖江駅と市内最大の観光地である西山公園など主要施設を結ぶ動線を整備し、市内への人の流れを拡大します。また、オープンデータやITをまちづくりに積極的に取り入れ、行政サービスの向上を図るなど、若者が住みたくなるまちをめざします。



道の駅「西山公園」の整備



西山公園

鯖江IC

JR鯖江駅

めがねをPRするモニュメント設置
(鯖江駅～めがね会館間)



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・市町が行う地域資源の磨き上げに資する環境整備を支援
(市町協働による地域みらい応援プロジェクト 331,862千円の内数)
 - ・鯖江駅前線の無電柱化(街路事業 0千円)
 - ・サテライトオフィスの誘致
- 2023年度実施事業【鯖江市】
 - ・空き家を活用したサテライトオフィスの誘致
(空き家利活用マッチングプロジェクト 7,000千円)



JR鯖江駅「えきライブラリー」の設置・運営



中心市街地商店街の空き店舗を活用したサテライトオフィス



サンドーム福井

JR鯖江駅観光案内所の産業PRブース「鯖江駅眼鏡」の設置・運営



さばえSDGs推進センター※

※SDGsの取り組みを紹介する展示や会議スペースを整備。市民や企業をはじめ市内外の関係者が集まり、SDGsを研究・発信する拠点

1-3 (4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化

主体	県・市町	場所	越前市他
事業費	約17億円	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・サンドーム福井へのデザインセンター移転、産業振興・人材育成拠点の整備(県、2016) ・紙の文化博物館のリニューアル(越前市、2016) ・越前古窯博物館の整備(県、～2017) ・越前打刃物振興施設、タケフナイフビレッジの整備(越前市、～2020) ・コウゾや漆の森づくり(県・鯖江市、～2018) ・越前箆筒会館の整備(越前市、2019) ・ラポーゼかわだの機能強化(鯖江市、～2020) ・越前たけふ駅の駅西交通広場、道の駅等の整備(越前市、～2022) ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) [P26再掲] ・東西、南北アクセス道路の整備(県、～2022) [P26再掲] 		<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産への「和紙」の追加登録 ・越前陶芸村活性化施設の整備 ・産業観光体制の充実

丹南エリアには、越前和紙や越前漆器など、5つの伝統工芸産地が集積しています。県の「越前ものづくりの里プロジェクト」を越前市の「工芸の里構想」などと一体的に推進し、各産地における発信拠点の整備、産地間や近隣観光地との周遊ルートづくりを進めます。

越前打刃物産地



越前打刃物振興施設やタケフナイフビレッジの整備
 ・越前打刃物の歴史・工芸文化発信
 ・越前打刃物技術の保存継承

越前焼産地



越前古窯博物館の整備
 ・水野九右衛門家住宅の移築
 ・資料館、天心堂、天心庵(茶室)の整備

越前漆器産地



・漆器工房の見える化
 ・小型山車の製作
 ・河和田アートキャンプの実施

越前和紙産地

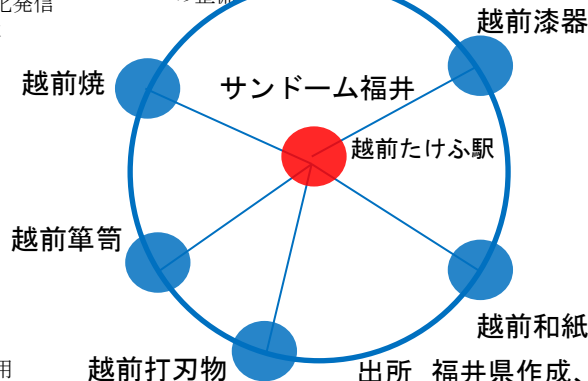


紙の文化博物館のリニューアル
 ・紙道具類など、重要文化財の展示
 ・和紙を使った日本画などの展示

越前箆筒産地



越前箆筒会館の整備
 ・越前箆筒(指物)の情報発信
 ・ダンス町通りを展示場として活用



○ 2023年度実施事業【福井県】

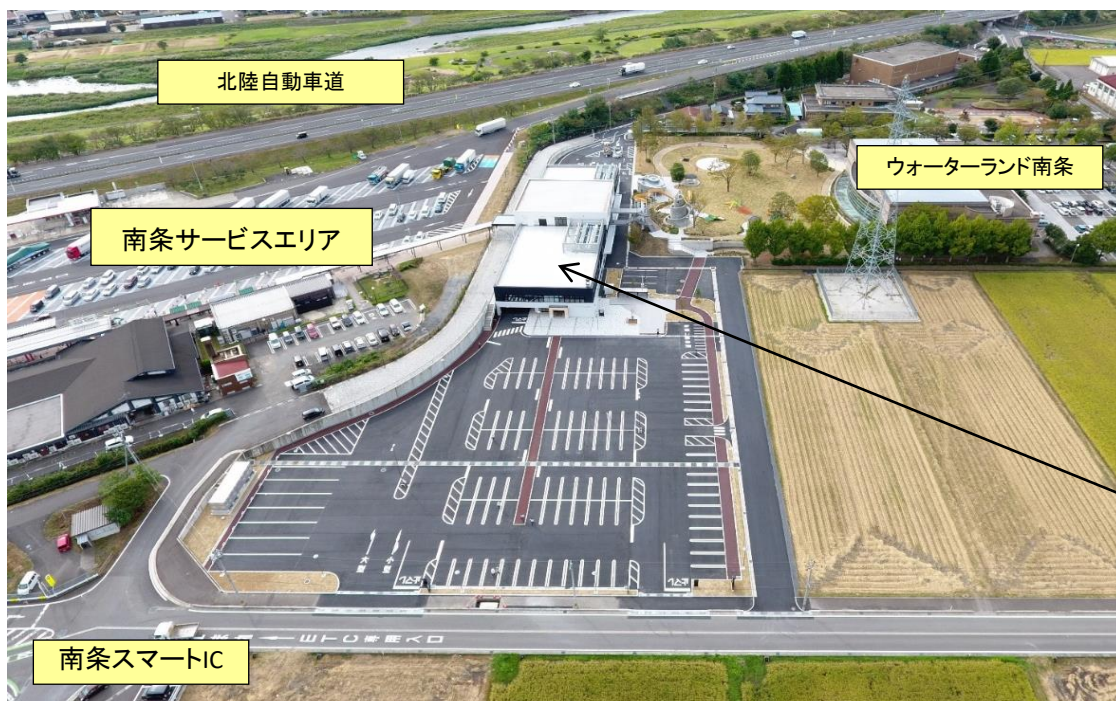
- ・伝統工芸産地連携によるPR等
(越前ものづくりの里プロジェクト 35,068千円)
- ・デザイン性を重視した体験施設・店舗の改修を支援
(産業観光ビジネス支援事業 17,073千円)
- ・県内外の宿泊施設や飲食店での建材やインテリア、テーブルウェアなど伝統工芸品の活用促進
(伝統工芸品活用支援事業 20,000千円)
- ・県内外のデザイナー等との連携による売れる商品の開発や県内外での認知度向上
(新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業 15,537千円)

1-3 (5) 南条SAの集客力の活用および産業基盤の整備

主体	県・南越前町	場所	南越前町
事業費	約26億円	期間	～2021

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・南条スマートICの整備(民間、2009) ・南条スマートICの24時間化(民間、2018) ・南条スマートICのアクセス道路整備(町、～2019) ・公園へのプロジェクションマッピングの整備(県・町、2020) ・道の駅「南えちぜん山海里」、公園の整備(県・町、～2021) ・鯖波工業団地の拡張整備(町、2021) 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜のモニュメントの整備(県、～2023) ・収穫体験施設の整備(県・町、民間 2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設からの周遊観光ルートの形成

県内唯一のサービスエリアとして年間720万人が利用する北陸自動車道・南条サービスエリア(SA)において、高速道路からも一般道からも利用可能な物販施設や情報発信施設等を整備します。あわせて、SA周辺における新たな産業団地の整備を進めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・恐竜モニュメント設置
(恐竜博物館来館者ワクワク回遊プロジェクト 75,570千円 R3→R4繰越)
- 2023年度実施事業【南越前町】
 - ・収穫体験施設の整備
(南越前町活性化計画 182,801千円の内数)



1-3(6) 今庄宿の歴史空間の再生

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	約7億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・北国街道の道路空間整備(町、2015) ・京藤甚五郎家を活用した交流施設、JR今庄駅舎の改修(町、2016) ・昭和会館の改修・修景、今庄駅前広場等の整備(町、2017) ・旧玉村家改修(町、2018) ・重要伝統的建造物群保存地区に選定(町、2021) 		<ul style="list-style-type: none"> ・今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成 ・重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進

今庄宿の歴史的なまちなみを保存し、旧北国街道宿場町の景観を再生します。

昭和会館

○昭和会館等の改修・修景
 ・宿場町の魅力発信拠点として、今庄宿の保存・活用（歴史文化の展示や住民、観光客の交流の場）

常夜燈

常夜燈の設置

堀口酒造

北村酒造

旧旅籠若狭屋(地元NPOの拠点)

旧玉村家

JR今庄駅

○JR今庄駅舎改修
 ・今庄まちなみ情報館を増設し、観光客の窓口として、今庄宿、鉄道の町等の情報発信

白駒酒造

畠山酒造

今庄支所 SL

至 越前市

至 滋賀県

国道365号線

伝統的外観が残されている民家等

地域まるっと体感宿 玉村屋

○ 2023年度実施事業【南越前町】
 ・重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進
 (今庄宿伝統的建造物群保存地区保存活用事業 49,677千円)



京藤甚五郎家・齋藤家の保存改修



北国街道の道路空間整備



今庄まちなみ情報館

1-3 (7) 里山里海湖の保全・活用

主体	県・市町	場所	越前町他
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルコースの設定(県、2015) ・水仙ランドレストランの整備(越前町、2016) ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) ・越前海岸や水仙畑を眺望できる視点場整備 [P13再掲] ・重要文化的景観解説板の整備 [P13再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、2016～) 	

ふくいの里山や周辺の名所・旧跡を巡るトレイルコースの設定など、里山里海湖の体験施設の整備を進めます。

○Satoyamaトレイルコース

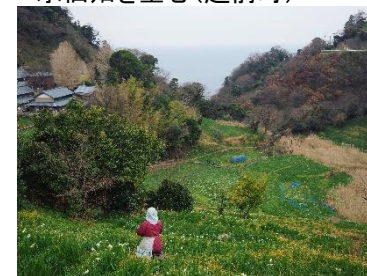


○ビューティフル3セット 観光プロジェクト(越前町)



文学資料館をレストランに改修

○視点場から 水仙畑を望む(越前町)



水仙畑を眺望できる視点場を整備

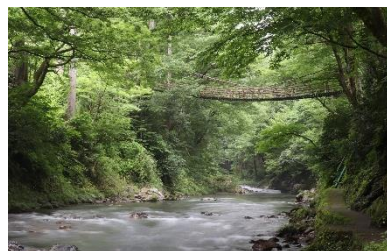
出所 福井県作成、「ビューティフル3セット観光プロジェクト」(越前町)、「木望のまちプロジェクト」(池田町)

1-3 (8) 志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充

主体	池田町	場所	池田町
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ(TPA)」の整備(池田町、2015) ・旧池田第三小学校を合宿施設「農村de合宿キャンプセンター」として整備(池田町、～2018) ・「おもちゃハウスこどもと木」および「あそびハウスこどもと森」オープン(池田町、～2020) ・ウッドラボいけだの移転オープン(池田町、2020) ・TPAの拡充(池田町、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・志津原「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」整備(池田町、2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業会社「SGC池田屋」(仮称)の設立 ・溪流温泉冠荘リニューアルプランの策定(池田町、未定)

TPAでは、幼児から楽しめる遊具を多数配置した「子ベンチャーパーク(仮称)」や、マルシェや観光案内所、物産店などを備えた「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」など、志津原地区をリゾートエリアとして再整備し、町民同士の連携及び協働と地域資源循環型社会の構築を通じ、観光交流人口の拡大を目指します。



かずら橋



TPA:メガジブライン



TPA:樹上テント

○ 2023年度実施事業【池田町】

- ・志津原エリアの再開発
(志津原再開発事業 791,000千円)
- ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだのアドベンチャーパーク拡張エリアのオープン
(ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張計画 550,000千円)



○おもちゃハウスこどもと木 あそびハウスこどもと森(池田町)



○ウッドラボいけだ(池田町)

